



学校・図書館・病院
福祉施設・ターミナル



所在地：大分県別府市南立石241番地の15
 建築面積：2,690.80㎡
 延床面積：7,595.92㎡
 構造規模：鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階
 設計・監理：(株)佐藤総合計画
 施工：建築/松尾建設(株)
 電気/(株)九電工
 完成：平成16年1月

グレアを抑制した遮光角制御形器具、拡散カバー付器具、 建築化照明を随所に採用し、快適な視環境を形成した精神科病院の照明

■日常生活に近い変化と潤いのある空間を創出し、かつ看護動線の短縮化と見通しの確保を実現

向井病院は、別府湾を見下ろす絶好の高台に立地。診療科目は精神科、神経科、内科、心療内科の4科で病床数188床を擁する精神科病院です。設計においては、従来の精神科病院の印象を払拭するよう、外観は粗面状のタイル張りの基壇部(地下～1階)、櫛引仕上げの柔らかな表情をもつ塗り壁(2～3階)と山並みと調和させた金属屋根の3層構成により、自然豊かな周辺環境と調和した建築デザインとなっています。

病棟は中央の中庭を囲む逆A字型平面とし、海を見下ろす東側の1-2床室群、雁行配置されたクラスター毎に坪庭を設けた西側の4床室群、その中間部に食堂、スタッフステーションを配置することで、従来の中廊下型式と大きく異なる変化が潤いのある空間の創出と同時に、看護動線の短縮や見通しの確保を実現しています。

照明は施設の特性上、高齢者の利用にも配慮し、グレアを抑えた遮光角制御形器具や拡散カバー付器具、建築による間接照明を随所に採用。光源は、一般執務室には高効率・高演色のHf蛍光ランプの昼白色(5000K)を、パブリックスペースには高周波点灯専用コンパクト形蛍光ランプや電球形蛍光ランプ等の電球色(3000K)を使用し、施設の利用状況に応じて適切な使い分けが行われています。

グループ活動を通して社会生活に自信をつける場として利用される講堂の照明は、105WHfコンパクト形蛍光ランプグローブ付ワイヤ吊器具15台を床3m位置に設置し、多様な治療に対応できるよう高天井空間を生かした開放感のあるソフトな照明環境を形成しています。

外来廊下は、コーニス照明によりグレアの少ない優しい光で誘導効果を高めており、また診察室は遮光角制御形器具を採用し、患者がベッドで上向きになった際の眩しさを緩和しています。

病棟の食堂は環形蛍光ランプシーリングライトを多数設置して家庭での日常生活に近い潤いのある雰囲気を出し、患者同士、スタッフとのコミュニケーションを高める空間を創り出しています。

病棟廊下の照明は誘導効果を最優先とし、壁面近くにコンパクト形蛍光ランプダウンライトを設置して少ない照明設備で明るい雰囲気をもたらしています。また廊下沿いのトイレなどのドア上部には場所を明確にするため地元特産の竹籠をセード(特注)に使用し、温かみのある電球色の光源で照明しています。

■照明コンセプト

Lighting design concept

- 施設の利用状況に対応した光の使い分けと、眩しさを抑制した照明手法で快適空間の実現化
- 病棟は家庭での日常生活に近い潤いのある雰囲気を演出



病棟食堂の照明：住宅照明器具のシーリングライトを多用し、家庭での日常生活に近い雰囲気を演出



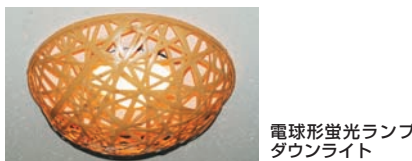
間接照明による柔らかな雰囲気を創出した病室



少ない照明設備で明るい雰囲気を創出した病棟廊下の照明。トイレ等のドアの前には竹籠照明を採用



スタッフステーションの照明



電球形蛍光ランプ
ダウンライト



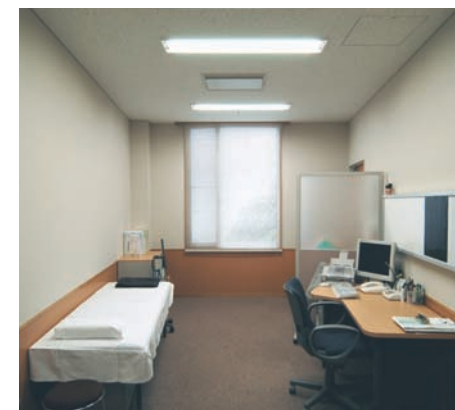
浴場通路の
照明



講堂の照明：105WHfコンパクト形蛍光ランプグローブ付ワイヤ吊器具を設置、開放感のあるソフトな照明環境を創出



コーニス照明によりグレアの少ない優しい光環境の外来廊下



遮光角制御形器具を採用した診察室の照明



Hf埋込器具と白熱灯ダウンライト(調光可能)を採用したCT検査室



エントランスホールの照明

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
院内	埋込器具	FHR-42848-PH	184	32WHf蛍光ランプ×2
	吊下器具	FHT-91601K-PS	15	105WHfコンパクト形蛍光ランプ
	ダウンライト	FHD-31006-PS	322	32Wコンパクト形蛍光ランプ
		FLD-2777(V)-ELD	216	27Wコンパクト形蛍光ランプ
	ダウンライト(竹籠用照明)	ID7028WN(改)	47	13Wコンパクト形蛍光ランプ
	笠なし器具	FHT-41007-PH	31	15W電球形蛍光ランプ
	笠なし器具	FHT-41007-PH	133	32WHf蛍光ランプ